

赤字削減・解消計画の実施状況

1 赤字削減・解消計画の概要

- 2 市が赤字削減・解消計画を策定しておりますが、令和 4 年度に両市から赤字解消目標年度を変更する計画書の提出がありました。
【赤字解消目標年度の変更】高松市：令和 21 年度⇒令和 9 年度、観音寺市：令和 9 年度 ⇒令和 5 年度
- 県としては、引き続き、財源確保や収納率向上、医療費適正化の取組みの実施状況を確認し、計画どおり赤字削減ができるよう市町と協議を行います。

【単位：千円】

市町名	赤字額※	赤字削減予定額						市町の主な取組内容
		H30 年度 (2018)	R1 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	R5 年度 (2023)	
高松市	775,297	172,691	49,309	77,530	77,530	77,530	77,530	保険料水準の検討や収納対策の強化 事業内容の総点検及び見直しによる経費削減 保険者努力支援制度等の活用による財源確保 保健事業の取組強化による医療費の適正化 赤字解消目標年度：令和 9 年度(令和 21 年度から変更)
観音寺市	205,506	100,000	5,000	5,000	10,000	5,000	35,506	保険者努力支援制度による歳入確保 医療費適正化対策事業の推進 納付方法の拡大等による収納率の向上 赤字解消目標年度：令和 5 年度 (令和 9 年度から変更)

※赤字額は、H28(2016)年度に発生した額

2 各市 赤字削減・解消計画実施状況報告書（概要）

【単位：千円】

市町名	赤字額 ※	令和3年度(2021)		実施状況の詳細	今後の取組み
		削減 予定額	赤字 削減額		
高松市	775,297	77,530	決算補填等目的の一般会計からの繰入は無い	<p>令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響等により、法定外繰入金は皆減となったが、今後とも、被保険者数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う医療費の動向など、先行きが不透明な状況が続くことが予想されるため、引き続き、本計画に基づき、赤字削減、解消に努める。</p> <p>①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 ・各総合センターでの口座振替受付サービスを開始した。 保険料収納額：R2年度 80.0 億円→R3年度 79.9 億円(-0.1 億円) 収納率：R2年度 91.38%→R3年度 91.54%(+0.16%)</p> <p>②事業内容の総点検及び見直しや、県支出金等の更なる公費の獲得 ・事業内容の総点検や見直しを行い、経常経費の削減に取り組んだ。また、特別調整交付金等の新規追加メニューの獲得に向けて取り組むなど、積極的な財源確保を行った。 歳出総額（保険給付費除く）： R2年度 127.6 億円→R3年度 122.3 億円(-5.3 億円) 県支出金（特別交付金）： R2年度 7.3 億円→R3年度 7.0 億円(-0.3 億円)</p> <p>③各種保険事業の取組強化及び医療費の適正化 ・若年層の健康診査に対してのフォローアップ事業を始めるなど、保健事業の取組強化を行い、医療費の適正化を目指して取組を行った。 保険給付費：R2年度 295.3 億円→R3年度 307.4 億円(+12.1 億円)</p>	<p>①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 ・保険料改定後の国保財政状況の把握・分析を行うとともに、県内保険料水準の統一化も見据えながら、安定的かつ持続可能な国保運営のために必要な金額及び適正な保険料水準について検討を重ねる。 また、令和4年度に「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」を策定し、効果的な収納対策に取り組む。</p> <p>②事業内容の総点検及び見直しや県支出金等の更なる公費の獲得 ・歳出面では、事務の総点検及び見直しを行い、経常経費の削減に取り組む。歳入面では、国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。</p> <p>③各種保健事業の取組強化及び医療費の適正化 ・各種保健事業等の取組の強化を行い、医療費の適正化を図る。</p>
観音寺市	205,506	10,000	108,683	<p>・スマホ決済やPAYPAYの推進により、収納率向上に努めた。 R3年度収納率：94.08%（対前年比+0.7%） ・毎年の医療費分析やデータヘルス計画を参考に、医療費適正化に引き続き取り組んだ。</p>	<p>・特定健診の受診率向上などにより国特別調整交付金や保険者努力支援制度等の財源確保に取り組む。 ・後期高齢者に移行する団塊の世代の動向、社会保険の適用拡大、新型コロナウイルス感染症等、国保財政にとって不透明な要素が大きいため、今後適宜税率改正を検討する。 ・収納率向上のため、収納部門と連携し、更なる取組みを検討する。</p>

※赤字額は、H28(2016)年度に発生した額